

# 令和7年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書(概要版)

令和7年8月  
教育部教育総務課

## 1 取組の概要

【報告書】参照  
P4~14

- 実施日** 令和7年4月26日(土) 午前8時45分から午後1時15分頃まで  
(学校教育活動:午前8時45分から正午, 市統一テーマ訓練:午前9時45分から午後1時15分頃まで)
- 実施場所** 市立全小・中学校(28校), 大町スポーツ施設(市統一テーマ訓練のみ)
- 当日のタイムスケジュール(※詳細は各学校で異なる。)**

時間	(1) 学校教育活動(小学校例)	(2) 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」
8:45	1校時 防災啓発講話 (保護者・地域へ公開)	
9:30		
9:45	2校時 「命」の授業 (保護者・地域へ公開)	9:45 市職員・地域の方集合 →一日の流れの確認
10:30		避難所開設訓練 ・避難スペース設置, 避難所受付準備 ・避難所体験の準備 等
10:45	3校時 安全指導 11:00 発災 避難訓練 引取訓練	
11:00	・校庭への避難 ・講評(校長・副校長) ・保護者による引取	
11:20	下校 避難所体験 (小学校4~6年生の児童・中学校全生徒とその保護者)	避難所体験 (小学校4~6年生の児童・中学校全生徒とその保護者) ・避難所受付, 備蓄品, 避難スペースなどの確認・体験
12:00		意見交換(訓練振り返り, 課題抽出等) 片付け・終了報告
13:15		訓練終了

▼防災教育VR「B-VR(ビーバー)」(東京消防庁)を活用した授業(布田小)



▼地域との協働による訓練(八雲台小)



▼災害時の備蓄食料「アルファ化米」調理・喫食体験(深大寺小)



▼避難所体験(避難スペース体験)(柏野小)



### (4) 参加者数(人)

参加者区分	令和7年度	令和6年度	令和6年度比
学校(教職員, 児童・生徒)	17,168	17,216	▲48
保護者	13,316	12,779	537
地域	383	386	▲3
市職員(避難所担当職員・初動要員等)	481	478	3
消防・警察職員(消防団員を含む。)	50	46	4
合計	31,398	30,905	493

実施校	令和7年度	実施日
東京都立調布北高等学校	239	4月30日
東京都立調布南高等学校	746	4月23日
東京都立神代高等学校	1,072	5月1日
明治大学付属明治高等学校・明治中学校	1,427	4月15日
晃華学園中学校高等学校	900	5月13日
桐朋女子中学校・高等学校	2,000	6月4日
ドルトン東京学園中等部・高等部	令和7年度内に実施予定	
計	6,384	

◎上記の都立高校・私立学校の参加者数は, 左表に含まれていない。また, 都立・私立学校における取組は, 防災教育の日(4月の第4土曜日)に限らず, 周辺の日程を含めたうえで実施を依頼

【報告書】参照  
P5, P76~112

## 2 学校教育活動の取組

### (1) 「命」の授業・防災啓発講話

- 児童・生徒に対し, 命の尊さを学び, 「自らの命は自らが守る」意識を高める「命」の授業を実施
- 調布消防署員・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所職員による, 地震・水害をテーマにした防災啓発講話(録画)を実施
- 調布警察署員や釜石市の実家が津波被害に遭った教育委員会会計年度任用職員の防災啓発講話等を実施

### (2) 避難訓練・引取訓練

- 全学年が校庭へ避難する避難訓練を実施した。その後, 校長・副校長から避難訓練についての講評を実施
- 各学校から保護者宛に「すぐー(調布市学校安全・安心情報配信システム)」を用いて引取訓練を実施

▼VR防災体験車による被災疑似体験(八雲台小)



▼釜石市の実家が津波被害に遭った教育委員会会計年度任用職員の講話(第四中)



▼校庭への避難訓練(国領小)



## 3 市統一テーマ訓練の実施(避難所開設訓練)

【報告書】参照  
P18~21

### (1) 訓練概要

- 市職員と地域の方との協働により, 令和元年台風19号における避難所開設時の課題を踏まえた訓練を実施
- [拡充]小学校4~6年生の児童・中学校全生徒及びその保護者を対象に, 受付, 避難スペース, 備蓄品等を体験する「避難所体験」を実施

▼避難所体験(携帯トイレの設置体験)



▼避難所体験(備蓄品の体験)



### (2) 訓練内容

- 校門等の開錠・施錠方法の確認, 建物利用調査, 図上訓練, 防災備蓄倉庫確認, 防災行政無線送信・受信訓練, 要請物資の入力訓練, 避難所体験 等

### (3) 訓練参加者数

947人(市職員481人, 教員83人, 地域住民383人)

避難所体験参加者数 3633人(児童・生徒2014人, 保護者1485人, 他134人)

## 4 連携・協働の取組

【報告書】参照  
P7~13

### (1) 調布消防署との連携

- 輪番校として定める5校(第二小, 第三小, 八雲台小, 神代中, 第五中)に署員を派遣
- 地震をテーマに作成いただいた防災啓発講話(録画)を希望校(11校)において視聴

### (2) 調布警察署との連携

- 輪番校として定める1校(第三中)に署員を派遣

### (3) 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所との連携

- 水害をテーマに作成いただいた防災啓発講話(録画)を希望校(10校)において視聴

### (4) 【新規】東京都都市整備局市街地建築部建築企画課耐震化推進担当との連携

- 耐震出前授業として, 紙ぶるる(ペーパークラフト教材)を活用した簡易模型作成体験などを実施(若葉小)

### (5) 鹿島建設株式会社 技術研究所との連携

- 水害のリスクや多摩川の特徴についての講義, 水害についてのクイズなどを実施(多摩川小)

### (6) 東日本電信電話株式会社(現NTT東日本株式会社) 東京武蔵野支店との連携

- 特設公衆電話を使用した災害伝言ダイヤル(171)体験, 動画視聴や公衆電話機を使用した授業を実施(第二小)

### (7) 地域との協働

- 市立全小・中学校, 大町スポーツ施設において, 地区協議会等の地域の方との協働による訓練を実施

### (8) NPO法人調布心身障害児・者親の会との協働

- 調布中学校・第六中学校において, 避難所開設訓練を協働で実施
- 災害時避難行動要支援者の立場からの意見を拝聴

### (9) 一般財団法人調布市市民サービス公社との協働

- 入間地域福祉センター及び調布ヶ丘地域福祉センターにおいて, 福祉避難所開設訓練を協働で実施

### (10) 市内部立・私立学校との連携

- 東京都立調布北高等学校, 調布南高等学校, 神代高等学校, 明治大学付属明治高等学校・明治中学校, 晃華学園中学校高等学校, 桐朋女子中学校・高等学校, ドルトン東京学園中等部・高等部において, 避難訓練等を実施

### (11) 市長部局各部との連携

- 市職員が各小・中学校, 大町スポーツ施設において, 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」を実施

### (12) 【新規】社会教育施設における取組(東部公民館)

- 釜石市の実家が津波被害に遭った教育委員会会計年度任用職員による講話(第四中)及び「調布四中作文展」(東部公民館)を実施

### (13) その他

- フードロスの観点や児童・生徒への防災教育の一環として, 防災備蓄倉庫にある今年度入替予定のアルファ化米を防災教育の日前後の日程において市立小・中学校全校の給食で提供
- 深大寺小学校の児童が, アルファ化米の調理・喫食体験を実施

## 5 出された意見の概要

「市職員からの報告」「保護者アンケート」等から多く出された意見を抜粋

【報告書】参照  
P22~73

- 日常生活では, 災害に対する意識が薄れるため, 防災教育の日を通して子どもたち・保護者が共に学び考えることができた。
- 通学路の危険な箇所を確認しながら帰った。子ども自身も「もし地震が来たら」と想像して考えを伝えてくれた。
- 避難する際の待ち合わせ場所やルールを家族で話し合う必要があると気付いた。
- 参加した職員や地域の方が, それぞれの立場や役割から感じたことを, 次の訓練に生かすために屈託なく意見を出していた。
- このような訓練は継続して実施することが, 災害時に役立つ。

- 授業で視聴した動画が, 低学年には時間が長く飽きていた。
- 避難所体験で説明する側の知識が不足していた。
- 避難所利用計画図が古く, 分かりづらい。
- 防災備蓄倉庫について, 倉庫内の表示が分かりづらく, 視覚的に分かりやすくなるよう配置してほしい。
- 市職員の配置人数が少ない。男女比に偏りあり, 欠席の職員が多い。
- その他, 訓練内容, 事前の研修・説明会, 要配慮者への対応, 開錠・施錠方法確認, 必要備品, 感染症対策, マニュアルの整備 等

課題等の改善に向け, 地域, 関係機関, 庁内関係部署と引き続き協働・連携を図り, 検討を進めます。